

令和6年度専門家・専門医による指導事業実施校における インターネット（ネット）依存傾向 アンケート調査要項

島根県教育庁保健体育課
(健康づくり推進室)

1. アンケート調査の目的

学校：過度のメディア接触が心身に与える影響（ネット依存傾向）を把握し、今後の指導の資料とする。

県：過度のメディア接触が心身に与える影響（ネット依存傾向）の実態を把握し、本事業の効果検証の資料とする。

2. アンケート調査の方法

(1) 対象学年：本事業を実施する小学校4・5・6年、中学・高等学校全学年

(2) 調査方法：①事業2週間前までに「事前調査」を実施。②事業終了後「事後調査」を実施。

・該当学年にあわせて、「別紙1－小学校4・5・6年生用」または、「別紙2－中学校・高校」を各校で印刷し、実施する。

・様式3（集計用紙）で集計・分析を行う。

3. アンケート調査の提出方法

・様式3を、事前調査終了後及び、事後調査終了後に、以下*担当者メールへ送付する。

* nakatani-takeshi@edu.pref.shimane.jp

4. その他

・「事前調査結果」については、本課より速やかに派遣講師へ転送し、派遣講師が該当学年等の実態を把握し、当日の講義に臨む資料とする。

・「学校保健計画策定の手引～しまねっ子元気プラン～」P12 「望ましい生活習慣の確立」付録P1～5「児童生徒のインターネット依存傾向の評価」を参照。

・各学校において保護者啓発や経年比較の資料とする。

・アンケート結果については、学校名の公表は行わない。